

# 海外博物館研修 IN ITALY

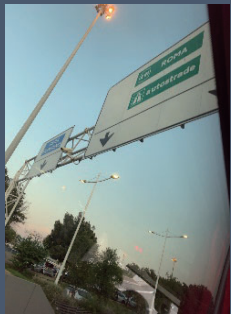
期間:2019/8/8~8/19

洲崎優芽 平みなみ 山口亜希子



8/8 1日目

日本からイタリアへ移動



- 中部国際空港から仁川空港を経て、ローマの空港に到着
- ▶日本や仁川空港に比べてリュックを背負っている人が少ない

8/9 2日目

終日フィレンツェ市内研修



8月9日



- ワインの小窓
- 手綱掛け、たいまつ置きのでっぱり
- フィレンツェの富豪メディチ家のコレクション
- 世界中から集められた、さまざまなモノ
- 展示室の欠陥  
空調が全く効いておらず、展示ケースのガラスもひと突きしたら確実に割れる



- Tボーンステーキ
- フィレンツェの名物
- 写真は1kgのステーキ

▶ウフィツィ美術館



- ルネサンス期の絵が多数展示
- 70%の絵には青いマントが特徴の  
マリア様が描かれている
- 聖書にまつわる絵が多い
- この頃はコピー機がない  
→聖書は手書きで写す
- さらに、字が読めない人が多くいた  
→聖書の内容を絵で表現



- ボッティチェリの「春」「ヴィーナスの誕生」
- ラファエロの「ひわの聖母」など
- 教科書にも載っていたような貴重な作品が多数
- 日本の展示と違い所せましと作品が展示



- レオナルドダヴィンチ作、「受胎告知」
- 日本に来たときはたった数秒しか見ることが許されなかった
- 自分のいる位置によってテーブルの見え方が変わる



8/10 3日目

## 終日フィレンツェ 市内自主研修

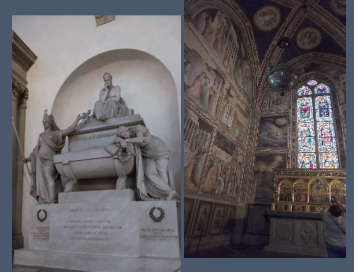


8月10日 ▶サンタクロッチェ教会

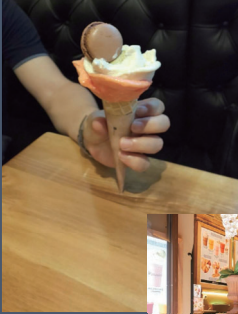


- ・観光客が多くいて、見所がとて多かつた
- ・チケットに描かれている絵が種類ではなく、一枚一枚絵が異なっている
- ・中はステンドグラスがとてきれいな

- ・フラスコ画と彫刻も圧巻
- ・床には遺体が埋まっていると思われる装飾
- ・踏まれないように囲まれている人も
- ・ダンテ、ミケランジェロ、レオナルドダヴィンチのお墓



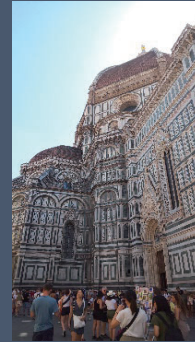
8月10日



- ・イタリアといえばジェラート
- ・街中には多くのジェラート屋
- ・バラのように飾り付けてくれるジェラート屋へ
- ・味の種類が豊富
- ・カップの大きさが値段が変わり、味も数種類選べる



▶サンタマリアデルフィオーレ大聖堂



- ・サンタクロッチェ教会とは比べ物にならないほどとて多くの人で溢れかえっていた
- ・無料で入れる
- ⇒中に入るための列は、大勢の人が並んでいた
- ・周りをぐるっと歩いて一周した
- ・とて大きくて歩いても歩いても終わらないほど
- ・外壁は、白、緑、赤を基調としていてきれいだった
- ・大聖堂に目を奪われていると、床に絵を広げて踏んだ人にお金を要求しようとしている人がいる
- ・日本と違い気を付けて歩かなければならない

▶ヴェッキオ橋

- ・橋の上に建物がある
- ・おもちゃみたいで可愛い



8/11 4日目

## ピサの斜塔 サンジミニャーノ 歴史地区研修

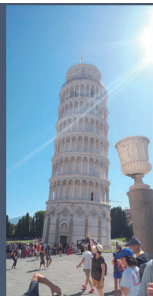


▶ピサの斜塔

- ・1173年から建てられ始めた
- ⇒地盤が緩かったことにより傾き始める
- ・4段まで造ったところでそれ以上長い間造られなかった
- ・しかし、しばらく経ってもう一度建築され始めたときは中心を右にズラしながら造っていった→形はまっすぐな塔ではなくバナナ型になっている



- ・着工から199年経った1372年に完成
- ・しかし、1か月に1mm傾いてしまう
- ・傾きを直すために多くの研究者が奮闘
- 15分おきに入れるなど
- 入場制限を行うことで現状維持



▶サンジミニャーノ歴史地区

- ・第二次世界大戦で爆弾を落とされ続けた
- ・市場の日が初日であったため、被害が大きくなる
- ・一番高い塔はロビューサという塔
- これ以上高い塔を建てることは許されなかった
- ・金持ちは高さで権力を誇示することができなかった
- 塔を複数造ることで権力を誇示
- ・フランチェナ街道が通っている
- 多くの人が訪れていた
- ・教会の出入り口を2つ作ることで一方通の流れを作る





8/12 5日目

フィレンツェ



シエナ



ローマ



シエナ歴史地区

• 12~15世紀にかけて整った  
ゴシック風外観を保っている街

シエナ大聖堂

イタリアで最も美しいといわれる  
ゴシック様式の西正面



カンポ広場

- イタリアで一番美しいと称される広場
- マンジャの塔は、  
イタリアで2番目に高い塔
- イタリア語で「マンジャ」は  
「食べる」



シエナ→ローマ

バチカン美術館

世界最小の国である  
バチカン市国にある美術館



サン・ピエトロ大聖堂





8/13 6日目 ローマ市内

サピエンツァ大学  
の  
ジュゼッペセルギ  
人類学博物館



MUSEO  
DI  
ANTROPOLOGIA

トレヴィの泉



アドリアーノ神殿

美しいものが好きだったアドリアヌス帝を崇めた  
義理の息子が建てたと伝えられている



パンテオン神殿

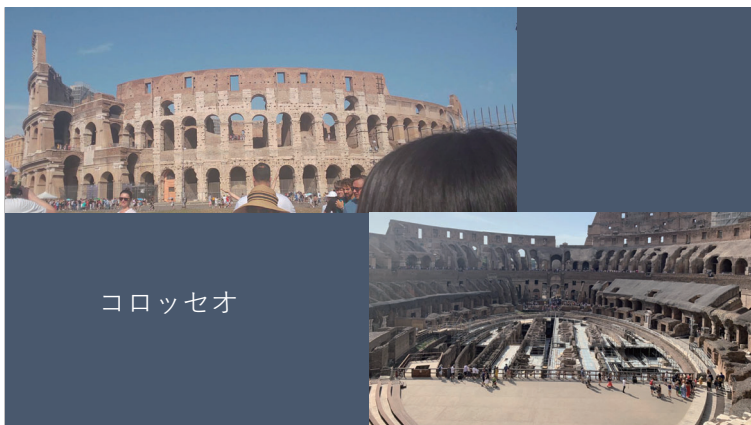
ローマ神話に登場する  
神々をひとつの建物で  
祀る「万神殿」



パンテオン神殿の天井



コロッセオ



フォロ・ロマーノ





8/14 7日目

ローマから  
ポンペイ経由  
ナポリへ



ポンペイを見学  
西暦79年にベスビオ火山が噴火

ポンペイからナポリの国立考古学博物館へ  
主にポンペイで出土したものの展示を見学





8/15 8日目

ナポリ  
↓  
アマルフィ  
↓  
マテーラ

アマルフィ

断崖絶壁に沿うように  
カラフルな建物が並び  
透明でブルーの  
ティレニア海が  
広がる町



アマルフィ  
大聖堂

聖アンデレに捧げられた  
大聖堂



マテーラ

サッシと呼ばれる洞窟住居が  
何層にも重なっている



ブルガトリオ教会

煉獄教会で、死をテーマ  
にした装飾がされている



カーサ グロッタ デル カサルヌオーヴォ



サンタ・ルチア・アッレ・マルヴェ教会



# 8/16 9日目 アルベロベッロ

## アルベロベッロ

白壁に円錐形の石積み屋根を  
のせたトゥルツリと呼ばれる  
伝統的な家屋が  
約1500軒も建ち並ぶ  
人口約1万1000人の街



## サンタントニオ教会

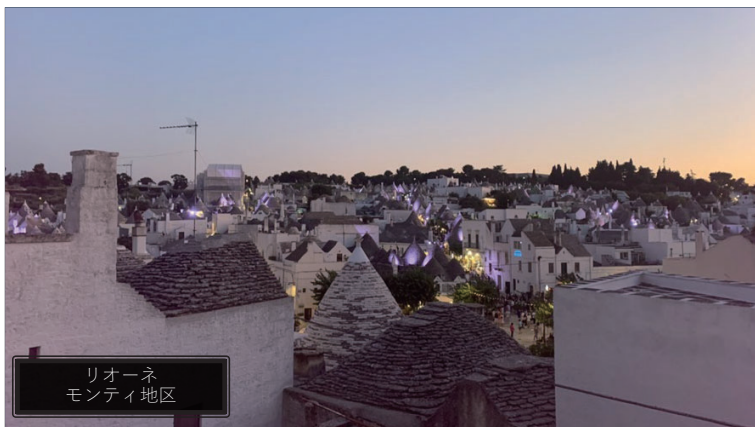
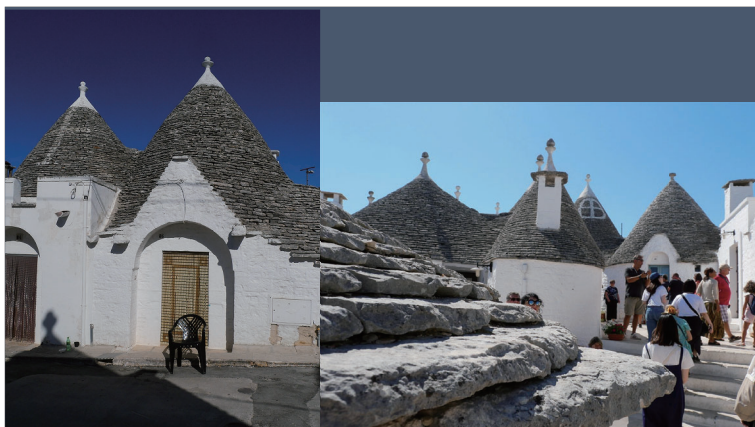
唯一のトゥルツリ屋根で  
できた教会



## アルベロベッロ の郷土博物館



## トゥルツロ・ソヴラーノ

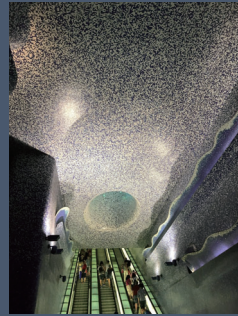


リオーネ  
モンティ地区

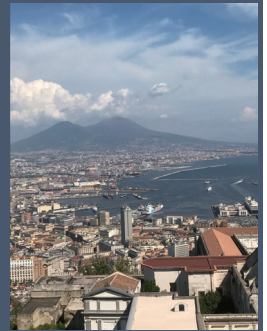


8/17 10日目

# アルベロベッロ ↓ ナポリ



●ナポリ  
世界で最も美しい駅（トレド駅）



●サンテルモ城  
14世紀に建てられた  
サンテルモ城内の美術館見学



- 卵城  
ローマの軍人の別荘
- ブルボン家の王宮



8/18 11日目

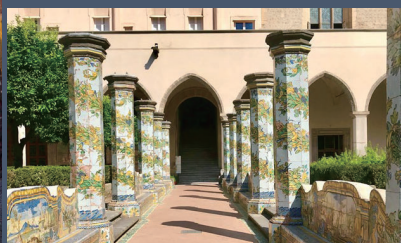
# ナポリ散策 ↓ 帰国



- ナポリ散策
- ゲスヌオーヴォ教会



- ナポリの街並み
- サンタキアラ教会の回廊



クローケーやベタンクのような  
遊びをしている絵もあった

サンタキアラ教会の回廊